



府 食 第 4 5 5 号

令和 2 年 6 月 1 2 日

食品安全委員会委員長 佐藤 洋 殿

研究・調査企画会議

事前・中間評価部会 座長 山本 茂貴

令和 2 年度食品健康影響評価技術研究追加公募課題（案）について

このことについて、令和 2 年 6 月 9 日に開催した令和 2 年度研究・調査企画会議事前・中間評価部会（第 1 回）における審議の結果、別添のとおり取りまとめましたので、報告いたします。

(別添)

令和 2 年度

食品健康影響評価技術研究追加公募課題（案）
について

令和 2 年 6 月

食品安全委員会 研究・調査企画会議
事前・中間評価部会

令和２年度食品健康影響評価技術研究の追加公募課題（案）

公募課題	概要
食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールＡのリスク評価に資する科学的知見の検討に関する研究	食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールＡ（ＢＰＡ）については、評価の中間とりまとめの時点（平成22年）では低用量影響に関する科学的知見が不足したことから、以後、新たな知見が得られた時点で評価を再開することとしている。 評価に資する科学的知見を検討・選定するに当たっては、昨今のＢＰＡの低用量影響に関する国際的な議論の状況等に鑑みると、その過程自体に一定の水準の客観性及び透明性が必要であると考えられる。 そこで、その過程の客観性及び透明性を一層向上させることを目的として、 ① 文献等情報の妥当性の検討 ② ヒトへの健康影響に関する証拠の信頼度の検討 に関する研究を実施する。